

議会報告会・意見交換会記録（第10回）

1 日 時 平成30年4月25日（水） 午後 7時00分 開会

2 場 所 妙高高原支所

3 出席委員 12名

議 長	植 木 茂	議 員	横 尾 祐 子
総務文教委員長	宮 澤 一 照	〃	佐 藤 栄 一
総務文教委員	霜 鳥 榮 之	〃	堀 川 義 徳
建設厚生委員	関 根 正 明	〃	山 川 香 一
産業経済委員	高 田 保 則	〃	岩 崎 芳 昭
産業経済委員	樗 沢 諭	〃	木 浦 敏 明

4 欠席委員 0名

5 市民出席者 15名

6 事務局員 2名

局 長	岩 澤 正 明	主 査	道 下 啓 子
-----	---------	-----	---------

7 件 名

議会報告会・意見交換会

- 1) 開 会
- 2) あいさつ 議会報告
- 3) 意見交換 「妙高高原駅前周辺の賑わいづくり」
- 4) 閉会あいさつ
- 5) 閉 会

1. 開 会

- 司会（高田保則） 皆さん、こんばんは。時節がらお忙しい所多数お集まりくださりありがとうございます。ただ今から、議会報告会、意見交換会を始めさせていただきます。皆さん御存じかと思いますが、平成27年3月に制定されました、議会基本条例に基づきまして、開かれた議会を推進する取り組みの1つとして、議会報告会・意見交換会を開催しております。ことしも、新井、妙高、きょう最後に妙高高原の3つの地域で開催してまいります。皆さんからいろいろな御意見をいただいて、私どもと意見交換をしていただきたい。本日は前に並んでおりますが、議長と委員5人、計6名で進めさせていただきます。最初に、自己紹介をさせていただきます。議長よりお願いします。
- 議長（植木茂） 皆さんこんばんは、議長をさせていただきます植木でございます。きょうはよろしく申し上げます。
- 総務文教委員長（宮澤一照） 皆さん、こんばんは、総務文教委員会の委員長をさせていただきます宮澤でございます。よろしく申し上げます。
- 総務文教委員（霜鳥榮之） こんばんは、総務文教委員会の霜鳥と言います。宮澤委員長の元で勉強しております。よろしく申し上げます。

- 建設厚生委員（関根正明）　こんばんは、建設厚生員会の関根と申します。よろしくお願ひします。赤倉出身です。皆さんから、いい御意見をいただければありがたいと思っています。
- 産業経済委員（樗沢諭）　みなさんこんばんは、産業経済委員会に所属しております、樗沢と申します。よろしくお願ひします。
- 司会（高田保則）　最後に、本日の司会を担当します、妙高温泉区の高田と申します。よろしくお願ひします。議会報告会、意見交換会に関して、皆さんから御意見いただきましたものを私ども今後の参考ということで、会議録に残しておこうと思います。皆さんの個人名は公開されませんが、議会録としてホームページに公開させていただきますので、御了解を願ひたいと思います。また、皆様にアンケートお配りしました。お帰りの際はぜひともアンケートをよろしくお願ひします。発言される場合には、お住まいの地区名とお名前から発言くださいますようお願ひいたします。

2. あいさつ 議会報告

- 司会（高田保則）　はじめに、植木議長から御挨拶並びに議会報告をいたします。お願ひします。
- 議長（植木茂）　皆さんこんばんは、議長の植木でございます。よろしくお願ひします。今日は、大変お忙しい中、多数の皆様方から議会報告会、意見交換会に御参加いただきまして、大変ありがとうございます。日頃より、当市議会に対し、御指導、御協力をいただいたこと、心より御礼申し上げます。ありがとうございます。私のほうから、今回の開催の主旨、目的をお話させていただきます。市民の皆様への説明責任と信頼関係を確保するために、皆様方に対し直接議会報告会と、意見を聞くという機会を設けさせていただきました。いただいた意見を市長、執行部機関に伝えるだけでなく、議会活動につなげてまいりと思っております。また、まちづくりの政策決定過程への市民参加がこれからは重要になってくると思っております。皆さま方の意見をお聞きし、安心して住みやすい妙高市に導くため、皆様方の御意見を、大いに議会に対して反映していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。それでは、3月定例会で審議いたしました、平成30年の予算、主要事業の概要や質疑等について、簡単に私の方から説明させていただきます。A3の資料をお開きください。なお、中に1枚ものの資料があると思ひます。後でござんいただければと思ひます。その中には人口の推移、市の借金、貯金の資料となっております。参考資料としてござんください。見開きの平成30年の予算・主要事業の概要をござんください。平成30年度の方針について、今回市長から大きく5つの方針により取り組みむと説明がありました。「方針1　新しい価値を創造するまち・ひと・しごとづくり」「方針2　世界に選ばれる観光先進地MYOKOの推進」、「方針3　人・地域と一緒に健康長寿のまちづくりの推進」、「方針4　支え合いの強化と未来につながる地域協働の推進」、「方針5　賑わいと活力を与える持続可能な地域基盤の整備」を掲げております。この5つの方針のもと、重点プロジェクトを中心とした実効性の高い施策を展開し、行政運営に関わる全ての皆様の協働により、未来を見据えたまちづくりを進めたいとのことでした。妙高高原地域に関しては、特に方針2では、インバウンド誘客の拡大等を目指した戦略的プロモーションの実施、高谷池ヒュッテの増築工事、方針5では、妙高高原支所機能を妙高高原メッセへ移転し、災害時の防災拠点機能の強化に取り組みむとのことでした。市長からの予算の概要説明を受け、議員が質疑などを行ないました。資料右ページの中ほどにあります、方針5の欄にマル2つ目の道の駅あらい整備事業について、3億円以上、事業費も高額であり、質問、質疑が多数行われました。道の駅あらいの拡充の必要性について、市長は既存の道の駅における駐車場不足や、農産物直売所の売り場面積の不足などの課題への対応を図るため、既存エリア内での用地確保が困難なことから、計画地での拡張を行うとの答弁をなされました。次に、妙高高原地域に係る予算審議で、平成27年度補正予算により導入となった、観光顧客管理システム、CRMについて常任委員会の中で質疑があった

ものを報告します。この観光顧客管理システムの内容は、妙高版DMOホームページ閲覧者の属性や趣味、嗜好データの収集や分析と情報発信を行い、新規来訪者やリピーターの誘客拡大を図るものです。委員から、顧客管理システムCRMの登録者数と、30年度の利用増加に向けた誘導はどのようなか、とたずねたのに対し、観光商工課長は、登録者数は3,306人。ホームページ「妙高ノート」から登録でき、閲覧者は2月末に22万8000人と答弁がありました。今後も登録者が増えるよう、登録により割引クーポンが受け取れる仕組みとして、増加を図っている。とのことでした。このほかにも予算が有効に使われ、市民生活の向上につながるよう、多くの質疑等を行っております。時間の都合もあり、雑駁な説明ではありますが、以上であいさつ、議会報告とさせていただきます。本日はよろしく願います。

○司会（高田保則） ただ今から、議会報告会・意見交換会に入ります。お手元にレジメがいていますが、次に、意見交換をさせていただきたいと思えます。これについては、意見交換会のテーマということで、各会場ごとに、私ども勝手に決めたテーマでございます。ただ、『妙高高原駅前周辺の賑わいづくり』大変幅広いテーマでございます。きょうおいでの皆さんは、各地区からおいでいただいています。駅前の観光案内所の問題もありますし、妙高戸隠連山国立公園の活用方法だとか、杉野沢・関川・田口はじめ、猿の被害、最近はイノシシの被害もあります。農業問題は経営所得安定化対策など大きな転換があります。いろんな意見をお持ちだと思います。テーマはテーマとしていろいろな意見をお聞きしたいと思います。

○市内男性A ○○の○○と申します。一週間前の18日に参加した時に、データでみる妙高市の中で、観光客入数が約600万人という数字が出ていて、質問された方がどういう状態なのかということをお聞きしたところ、スキー客が300万人、道の駅が300万人という答えが出てきましたが、これはどこから出てきた数字なのでしょうか。と思うには、スキー客だけで300万人というと、冬100日計算で行くと1日3万人という数字が出てくるということだが、自分でも不思議だなあと思って、ある納入業者に聞いたところ、こんなに入っているわけでもないし、1日3万人のキャパというものが、妙高市にあるかと言われました。私もその通りだと思います。ここ最近冬赤倉スキー場・池の平スキー場の見える所に行って、下から見ても客さんがいないのに、3万人もいるのかということです。一番最初に聞きたいのは、どこから出した数字なのかを聞きたいし、300万人が、来客数なのか宿泊人数なのか、宿泊人数なら300万人という数字は、泊まらないと思えます。

○司会（高田保則） ありがとうございます。

18日の新井で行った時にそのような質問が outcome して、答弁をさせていただきました。きょうサポーターということで、答弁していただいた木浦議員が見えていますので、願います。

○産業経済委員（木浦敏明） その時、私の方で人数の報告をさせていただきましたが、根拠はどういうことかと言われましたので、翌日役所に行って調べてまいりました。質問の中で一つ御訂正いただきたいのは、スキー客だけで300万人ということではないということ。妙高高原地域で300万人ということは、グリーンシーズンも当然入ってるし、登山客だとか、苗名の滝だとか、そういったもろもろの観光施設全部が入っているということをご理解いただきたい。道の駅で300万人というのはこれは、おおよその数字であるが、情報館の入口の所にカウンターを設置してあるということです。カウンターは入る人と出る人が分かるような仕組みのカウンターが設置してあるということで、情報館の人数は間違いなく把握できている。そして合わせてカウンターを設置する際に総務省の指導のもと、カウンターの入りだけじゃ、道の駅全体の数がわからないので、調べたそうです。総務省の指導のもとに実際に目と手と足を使って調べて、係数を導き出したということでございまして、その係数については、調べた時から一切変えていないということで、道の駅の数把握について、300万というのは一の位まで確かかと言うと確かにわからないところがありますが、概ねの数はちゃんと把握していると役所の答弁がありました。同時に教えていただい

きましたが、妙高高原において、苗名滝、火打の登山口、それからビジターセンター、休暇村妙高これの出入りに全部カウンターがついてるそうでございまして、この人数につきましてはきっちりと把握しているとお話をいただいております。

○市内男性A 今の数字からいって、そうすると年間で割ると約8000人ぐらいは数字として、300万人を割ると、その時に思ったのはそれならば、もっと納入業者に対して数字的にも出てくるし、逆に言ったらこの23年間で、駅前で商売をやっている人が3軒くらい止めてるわけですよ。そういうことになったのならばこのテーマ自体がおかしいことになってしまう。8000人が入っていれば、もっと税収が上がると思います。これだけの数字が出てきたならばと私は思います。だから数字をいくら大きくても、年収が上がってこないから数字的には合わないと思います。以上です。

○司会（高田保則） 樗沢委員お願いします。

○産業経済委員（樗沢諭） 産業経済委員会、担当でありますので、補足した答弁をいたします。今御指摘の点はその通りだと思っています。しかしながら、まずこの数字がどこから出てきたかということについて答弁します。観光入込数ということで、交流人口を含めた人数です。県の観光実態調査に基づいて2014年に出した数字が573万人が、妙高市に来ているという数字でございます。そういう数字を基にして総合計画を組みまして、2016年には妙高市では660万人を目指すということを大きな目標にしております。道の駅が290万から300万人ぐらいが入っているという形です。高速道路の通行量については13000台その10%が降りて利用すると。18号線は1万代以上通っているところの30%の車が立ち寄っている。そういう想定です。温泉の話が出ました温泉客の状況がどうかを調べてみました。入湯税を調べてまた宿泊者数を調べて妙高市の関係では、平成26年度で温泉関係で25万人ぐらいが宿泊人数がある。日帰りを持って18万人弱ぐらい利用しているということで、入湯税の関係で43万人ぐらい入っているという形ですとか、宿だとか海外から来るとか、こういうものを分析しているという状況であります。以上で一部ですが、御紹介させていただきます。

○司会（高田保則） よろしいでしょうか。ほかにございますか。はい〇〇さん。

○市内男性B 観光客のこれに対する経済効果という資料はあるのですか。データは出てるんですか。一人当たりの価格の統計資料っていろいろあるでしょ。人数が多くなれば経済効果が大きくなると思いますが、一人当たりのチェックをしていかないと。そういうチェックがあるんですか。あればお聞きしてもらいたい。

○産業経済委員（樗沢諭） 今の質問は600万人300万人の経済効果がどうかという、その統計的なものがあるかどうかという質問であります。明確な情報はなかなか難しい。それで現在の観光に関しての売上額だとかそういうものが出ています。具体的な数字はちょっと調べてないので分かりませんが、温泉業者が宿泊業者がどれぐらいの何百億だという数字と、それに関連して小売業者スポーツ関係者の数字も出ています。

〔何事か呼ぶ者あり〕

○産業経済委員（樗沢諭） 持っている。資料は私の中で地方創生をやるときに、その会社が調べた妙高市の状況。というのは観光関係全体で、132億円ぐらいの効果があると、その中で旅館観光売上が53億円。観光売上の中で泊まりが19億9000万円。飲食関係が4億円。スポーツ文化関係が4億円。小売が5億円くらい。こういう形で集計されております。

○市内男性B 一人当たりいくらぐらいになるのでしょうか。

○司会（高田保則） 〇〇さん、今そういう資料を持っておりませんので、機会を見つけて後ほどお知らせしたいと思います。よろしく申し上げます。ほかにございますかどうか

○市内男性C 市全体として、温泉地域に関しては入湯税というものを取って、そこから自然に数字が出てくるのでは

ないでしょうかというのが私の疑問です。入湯税はいわゆる市民税ですよね。分からないというのはおかしいじゃないですか。今話を聞くと、全体的な上から出てきた数字を持って、入湯税的なものの数字は出てきますか。

○樗沢委員(樗沢諭) 入湯税にはついては、さっき報告させていただきましたが、43万人ということで資料が出ています。旅館業者から出てきている数字です。

○市内男性C それに対して今入った人数の割合にすれば、少ないんじゃないかというのが私の考えです。これだけいたならば、まだ税収が上がってもいいと思います。税収に関して、入湯税に関しては、支払いが遅れるというのが前提という考えで、今までの行政は当たっていたという話も聞きますし、滞納をしている人たちもいるんだと聞きました。そういう点に関しては、我々サラリーマンは否応がなしに持っていかれるので、申告に対する税金との差があまりにもあるのではないのでしょうかというのが私の考え方です。

○総務文教委員長(宮澤一照) 入湯税に関しては、これは目的税ということで申告制になっております。先ほどからいっている入込客数を考えるならばと言うことですが、この件については、今回議会では議論にはなっておりません。しかしながら私共が考えていることは、入湯税が多ければ多いほど入り込み客が多いというのは当然である。どうもこの入込客はあるんですがこの地域で立ち止まってきているか、宿泊してくれているか、決してそれはない。いわゆる日帰り立ち寄り、それぐらいでほとんど宿泊業者に潤っていないのが現状であると思います。この中において入湯税においては、昨年より若干下がっていると聞いております。通知については後日お届けに上がりたいと考えます。

○司会(高田保則) ほかにございますか。今観光がございすが、農業でも何でも結構です。

○市内男性C 質問変わりますが、ことし妙高国体がありましたけど、国体に関しての支出の金額はわかりますか。今ここで答えられる範囲で結構です。そして支出に関して、予算があつて経費としてるんでしょうけど、一説によると前の国体の開会式だけで3千万円かかっている。相対的に見た中で今回どのぐらいかかっているか。あと、選手団の泊まった人たちの納付金額それで賄えないと思いますが、それだけの金額は何年かかたら0になるか教えてください。

○総務文教委員長(宮澤一照) 今回の議会では予算案でしたこれが、9月になると決算になります。この決算の時にそれが集計されて、そのデータが必ず出てきます。これは来年度議会報告をやるときに、今言われたことをしっかりと報告したいと思います。今の段階ではまだ集計が出ていないと思います。決算が9月ですので9月までの間に出るというふうに認識しております。

○司会(高田保則) 行政の会計の方式ということで、29年度の事業については9月まで内容が私どももよくわからない。9月の決算議会で明細が出てくる。その時はまた何らかの形でお知らせできればお知らせしたい。妙高市よりも決算概要が出ます。そういうのを見ていただいたり、31年度の議会報告会・意見交換の中で発表できればと考えております。

○総務文教委員長(宮澤一照) 国体は、県の事業でもあるわけで、その辺も含めた回答をしていかなければならないので、よろしくをお願いします。

○司会(高田保則) ほかにありますか。

○市内男性D 個々の問題については、私はわからないのでちょっと大きな、東洋経済のデータバンクによると妙高市は、新潟県では一番住みやすいと。これは3年ぐらいですかね全国的にも18位ぐらいとなつて。これ非常によいことですよ、一般的には。しかし、昨年度の公示地価は佐渡に比べて減少率が、この地区は二番目に減少率が高い。これがどう考えたらいいんでしょうか。どんどん下がってくるということは、土地の取引が少ないと、逆にいうとあまり魅力がない都市だと。皆さんこの二つの問題について、一体今後どう考えていくか。ぜひその辺を考えてい

ただきたい。個々の問題も必要だが、まず大きな路線というのをはっきりさせていただいて、妙高の特色がなく、全国的に同じようなことをやっていて、先ほどからお客さんが来ないとでいる。住よさ一位の新潟県では、これをどう全国的に発信していくかという、一番大事なことを考えることが必要ではないでしょうか。私は何をやったらいいかはわからないが、きょう来る時にちょっと見たんですが、色々補助金出すとか、いろんな書いてありますけど、ただしこういうことは全国でやってると思います。総体的にあってもなかなか妙高を基本的なことベースにして真剣に皆さん考えていただきたいと思います。個人個人色々考えればお伺いしたいと思います。

- 司会（高田保則） 私たち議会としても、人口減少問題が質疑なりに出てきますが、どうでしょうか。
- 宮澤委員（宮澤一照） 私も個人的なことを言っちゃいけないので言いたくはないが、議会でもこの東洋経済の住みよさランキングについては、いろいろと議論させられている。住みよさランキング新潟県内で一位、果たしてそれが、皆さん方が実感されているかどうか。やっぱりそこところの議論がたくさん出ております。その辺を行政はしっかりと考えて、本当に住みよさがいいのかどうか。先程来地価のこともそうですが、交流人口がふえているのに、なんでと全く同じである。東洋経済の数値という1位と果たして本当に実感した住よさになっているかどうか。ここが一番重要と考えている。その点をしっかりと。第1位だと言ってるんじゃないで、しっかりとした政策に結びつけるように議員も質問をしていきたいと感じております。以上です。
- 司会（高田保則） 人口減少について、妙高市で28年度ですね、妙高市人口ビジョンというのが提案されました。その中で、人口減少の原因は、大きな要因として10代後半から20代後半の若者の流出が大きいと。その人たちがUターンしてるかと言うと、ほとんどUターンしていないという状況が、人口減少、一方で住みよさランキング、住みよくないから来ないのかという議論もあるが、人口ビジョンの中では最大の原因は上級学校がないのが原因だと、位置づけをしています。ですから住みよさランキングも含めて若者の人口減少を含めて、そういうものがどういうふう to 実現していくか、また政策の中に取り入れていくかが、これからのひとつ 妙高市としての課題だというふう to 人口ビジョンの中では出ている。議会でもそれに関して色々質問がある。
- 市内男性E 前回参加させてもらった時に、駅周辺の話がありました。妙高市で駅4つありますが1日の利用者乗降客。前回新井駅で1日平均あたり1000人という数字が出てきたが、妙高高原のほかどのぐらいの乗降客数があるか教えていただきたい。
- 総務文教委員（宮澤一照） 妙高高原駅が273名、関山駅が153名、新井駅が993名、北新井駅が254名です。
- 司会（高田保則） よろしいでしょうか。ほかに御意見ありませんか。
- 総務文教委員（霜鳥榮之） 霜鳥と言います。私は新井の山の中で暮らしております。妙高高原の中身がよくわからないですが、きょうの標題。駅周辺のにぎわいづくりという形の中で、意見交換会なんです。そういうことで、私たちが分からないことがいっぱいあって、実は、ここに出されているのは、行政の方でいわゆる市長の方でつくったものでありまして、こういうものに基づいて議会では、議論してきていると。私は、今回妙高高原駅前の賑わいという形の中で観光案内施設がつくられましたけど、地元のみなさんのこれに対する考え方、これを今後どのように生かそうとしているのか。この辺議会で議論してもようわからんということです。地元の皆さん、拠点をあそこにつくったと言って、これをベースにどんな活動を持って、観光と言うか観光の目玉として売り出していくのかな。今までいろいろ議論があったように、宿泊施設との関係。入込客との関係。この辺のところを出来れば、皆さんの御意見を伺ってそれをベースにまた行政にぶつけながら一緒に発展させていただければというふう to 考えております。正直私その辺分かんないです。是非その辺は皆さんからお聞かせいただきたいなというふう to 思っております。こういうことで意見交換をする中で、実は私たちは議会なんで、行政じゃないので、ここで質疑応答ではなく、こういう意見をどんどん出していただいて、こういう問題を行政事務にぶつけて、おらちのために働けと言

っていただくとありがたいな、という風に思っております。どなたかお答えいただければありがたいというふうに思っております。

○市内男性F ○○の○○と申します。駅から18号に向かう道路ができました。今は毛祝坂と田口区の人で年2回ほど、ハナミズキ通の草刈りをやっている。夕方2時間でもきれいにならない。前はあそこに花を植えて、手入れをしたんですけど、今度は支所がメッセに移るとなれば、駅降りた人がメッセ行く途中に、汚いところを通りたくないと思います。それをもう10年ぐらい前に補助金カットして、金がないからガードレールも撤去していないし、花も汚くなっている。だから地元に一斉清掃しろ、草刈しろじゃなくて、やるのであれば金じゃないけど、我々できないところには行政頼むとか、なんでもかんでも地元じゃなくて業者をお願いしてもらいたい。我々役員も高齢化で、だんだんできなくなってきた。毛祝坂70過ぎても区長をやらないと、若い人もいないんで70過ぎの区長に草刈りと言っても。若い人は平日仕事をしているので、5時半過ぎじゃないと草刈はできないということで、私は無職ですからやっていますが、私も元気なうちはやりますが、そういうことでとにかく駅から国道へ出る道路を整備して、駅から見る妙高山は晴れた日は綺麗だと思います。駅を降りてあの通りで花や妙高山を見て綺麗だなと思って、減らないけどまた来てくれると、増やすのも難しいが減らさないことが大事だと思います。増やせばいいというものではない。今来ている人をリピーターでもう1回。冬来たから夏来たとか、冬はちょっと無理だけどまた来年夏も来ましようとか。体制づくりをもう一回、市の方へ要請してもらいたいと思います。以上です。

○司会（高田保則） 貴重な御意見ありがとうございます。皆さん場所わかりますか。よろしいですか。妙高高原町時代につくった道で、当時は駅前の花づくりなんとかという団体が管理して、皆さん高齢化してだんだん離れていて、正直全然やっていない状況がある。私ども、駅前活性化ということで。

○総務文教委員（霜鳥榮之） 地域づくりの中で花いっぱい運動とかがあってそれに補助金を出していた。花植えをやってくれた皆さんの補助金じゃなくて、やってますよということをしでもって感謝状と言うか表彰ということもあつたりした。この事業というのは、補助事業3年をやるとストップとなっている。今また新しい制度もできてきていますので、今の声を十分お聞きした上で、制度内容を前進させるというところで、議会としても頑張っていきたいという風に思います。○○さんが住んでいた頃にやっていた事業だと思います。よろしくをお願いします。

○司会（高田保則） ほかにございませんか。

○総務文教委員（霜鳥榮之） 観光案内所関係、どなたかお聞かせ願えませんでしょうか。

○市内男性 駐車場の件ですが、駅前に駐車場がない、駐車場に観光案内所をつくっちゃったから、駐車場もないと人も帰っちゃう。駐車場をどうするかということで、また検討をお願いしたい。どっちみち古いやつは解体するんですけど、あれじゃあ駅から見えないから、見えるいいところに。この地区は冬の除雪の問題もある。排雪場になつたりしてますから、それもちょっと検討をお願いしたいです。以上です。

○樗沢委員（樗沢諭） 観光案内所については、産業経済の委員会で視察調査して、意見をお聞きしました。駐車場の件もどうするんだということで、今ある既存の建物を今回予算組んで、解体してそこを駐車場にするという予定であります。きょうも見てきましたが、観光案内所関係の駐車場ということで表示もしてあります。ということで確保いたします。皆さんから意見が出やすいように理解として、あの観光案内所について、非常に基本的な質疑が多かったです。要するにまだ建てるのが早いんじゃないか、場所はあそこでもいいのかどうか、機能はどうか。11000万もかけてやる価値はあるのかどうか。こういう議論をしました。今ここだけに留めておきます。

○司会（高田保則） 観光案内所については、29年当初では、議会としては条件付き賛成ということで、実は議決をしております。現在条件付きがまだ道半ばということで、観光協会の建物がそのまま残っているということは、実現していないんですけど、これから産業経済としても取り上げて、これから解決をしていきたいと。もちろんあそこ

は当初から駐車場ということで予定していましたんですけど、実際建物が立っていると駐車場にならないと、そういう問題もこれから捉えていきたいと思います。

○市内男性G お疲れ様です。〇〇の〇〇と言います。このような意見交換会に出席するのは初めてなんですか、特に原稿等用意してないので、整理して話ができるかという不安もありますが、原点に戻って妙高高原駅前周辺の魅力づくりということで、防災無線の告知案内できょう時間があってきました。私50代半ばですが、妙高高原の駅前が閑散としていて、寂しいなということを常々思っております。建物が借地のために壊される風景を携帯電話で記録に残していたりします。景観の変化をつくづく小さい頃から見てる中で、一人寂しく思っているところです。観光協会や、ハコモノの話も出ました。活用策はどうなのかということ、地域住民として元々のスタートの話がこのような形になったのが残念と思っている。当初駅を活性化しようということで、バリアフリー化した物をということが、元々のスタートだと思っておりますが、参加の中であの形になったと。それをどう生かすかという話が、論点になってるかなと思っております。私も2回ほど中を見させていただきました。カヤックが置いてあったり、レンタル用のバイク自転車が置いてあり、これをどのように活用していくのかなと関心を持ちながら見ております。地域の子どもたちが活用できる施設になってもらいたいと思っています。私はスキーに関わっておりますので、新潟はねうま妙高国体の話も先ほど出ましたが、役員として出ているので、日中妙高高原駅付近がどのぐらい賑わったのかわかりません。しかもこのビッグイベントの時に駅周辺がどのくらい賑わったのかと直感的に知り得る人がいたら教えていただきたい。駅にカウンターを設置して県外からのお客様を案内するという方もいるのか、今見ましたが実際どうだったのかなということと、それから駅前周辺づくりのにぎわいづくりということで、観光協会的な施設をどのように使うのか。子供達が人が集まるためにどう活かすのかということと、今後地域の方が集まる拠点になるのかなと、すごく疑問に思っております。駅前が閑散としている中、土産物屋さん、飲食店が頑張っていますが、私も電車で通勤しているひとりですけど、蕎麦屋さんがあった時には店先に可愛らしい花を飾り、景観を良くするという取り組みが、商工会を含めた努力によってきていますが、それをお世話する建物もなくなり、人がいなくなりというところがすごく寂しく思っております。人が集まるためにどういったことがいいんだろうか、妙高高原駅には実は用水路に鯉が泳いでいます。知っている人は知っています。ただ、妙高高原というかつてのブランド名を生かすために、そういった鯉のいる駅だとか、妙高高原には多くの温泉があるので、各地域の温泉の足湯などを活用するなどというような今思ったことなので、正式な資料としてつくってきていないので、言葉があちこちになっているのは大変申し訳ないが、賑わいづくりの原点として、人が集まる所をまず地域の人が集まる所、今ウィンタースポーツであるインバウンドのお客様をどう活用するための駅前づくり、にぎわいづくりができるかということとをみんなで話しみんなで知恵を出す、きっかけづくりになればと思っています。

○司会（高田保則） ありがとうございます。宮澤委員長。

○総務文教委員長（宮澤一照） 私これしゃべるとなかなかしゃべっちゃってひんしゅくを買いますし、反対の意見も出ちゃいますので、今一緒おっしゃられた通り、本来ですとこの妙高高原駅周辺地域活性化ビジョンというのを皆さん妙高高原中心にやられました。このビジョンという妙高高原駅周辺整備基本構想というのがございます。こちらの中で、やるのはやはり妙高高原駅のバリアフリーそれからキヨスク、妙高高原駅中心としたものをやるという意見であったんですけど、それが観光案内所ということで、4000万という予算で当初提示されて、それが徐々に徐々に膨れ上がって約1億4000万程度になって今の観光案内所ができたという経緯でございます。こういう状況の中で、あの建物ができてテープカットされました。あれをつくった以上はしっかりとした意見を聞いて、せっかくこことここに妙高高原駅周辺地域活性化ビジョンということで、妙高高原駅の商工会の皆さんや、観光協会の皆さん高原タクシーの方、えちごトキめき鉄道の役員の方が来られて議論されているんです。しかしながらその議論を、

一番最初の分、ソフトからの分しっかりとやっていかなければならないんですが、トキ鉄としっかりとしたコミュニケーションができてなかったのか、まずできたのか観光案内所という形でした。私も非常に残念に思うが、つくった以上はしっかりと、活力あるものにしなければならない。そのためには今の観光案内所にあること、子供達と地元としっかりと連携しながらつくり上げていく必要があると思います。こんな中において、売店やATMやというものをしっかりとつくり上げるというビジョンも書いてありますが、まだまだそこはできていない。それをしっかりとしなかったら地域の活性化はなされないと思います。今あの中にカヤックやおっしゃられたサイクリングはあるが、あのサイクリングで池の平とか杉野沢に行けるでしょうか。我々だって体力がないからいけない。ただ置いてるだけでは何の意味もない。あそこの2階ははっきり申し上げて、一番当初やるときは展望台という話がついていました。しかしながら今はDMOという団体の事務所になっております。全く違う方向になっている。やはりそういうことを言うのは、議会じゃなきゃダメだと。我々は皆さんから付託を受けているわけですから、その我々はしっかりと議会で提案していきたいと考えております。これ以上言うとひんしゅくを買うのでやめておきます。

○司会（高田保則） 補足しますと、今カヤックはございません。サイクルバイクだけ置いてあるということです。カヤックは下へ下げたということです。

○産業経済委員（樗沢諭） 産経が担当なので短くします。2月6日に委員協議会ということで、その中で業務の内容がありました。一つは観光案内。二つは観光情報の収集及び発信。アウトドア用品のレンタル及び小物類の販売。これについては議会としても我々としても違和感を持っています。おたくさんから指摘があった通り、地域で活用するということは一言も入っていない。設立当時は、安全対策だとか、休んでいただくとか、地域で活用するだとか、妙高山が見えるとか、様々な点において予算を取るため一生懸命説明したが、最終的にはこういう形になって、厳しく対応していきたい。あとDMOに対しての今の取り組みの状況にしましても、まだ、中途半端ですし、部会もしっかりできていないということをきょう確認しましたので、これに点に対しても議会としては、厳しく話を聞きながら対応していかなければならないと思っております。以上です。

○司会（高田保則） よろしいでしょうか。私もまだ途中でございますので、はっきりした方向性というのも議会として持っておりません。これから徐々に検討していきたいというふうに思っております。よろしくお願ひします。ほかにございますか。

○市内男性H ○○の○○○と申します。私は妙高山が好きで、昨年上越市から移住してきたばかりで、まだちょっと妙高市のことがわからないのと、こういう会ってというのは、初めて参加したのでちんぷんかんぷんの言うことを言うかもしれません。先ほど妙高高原駅前とか妙高高原駅周辺とかの話がありましたが、自動車社会とはいえ観光客にとっては駅というのは、とても大切な場所と思います。地域にとっても地域の顔と思います。特に都会から来た人が、最初にその地域に足を踏み降ろす場所がホームであったり、あるいは観光を終えて、最後また都会に帰る時に電車を待つ時間ってというのは駅だと思います。私は今年の6月にここに来て、観光客をふやすための創業の準備をしているところなんです。昨年ちょっと感じたのは、妙高高原駅の中のホームに立つとちょうど、夏の頃雑草がすごかった。こんなに生えているんです。確かに色々財政とかがあつて、なかなか手が回らないのかもしれませんが、きょうのチラシに書いてあるような世界に誇れる観光地だとか、戦略的だとかそういう言葉を地域として言うのであれば、私はやっぱり観光客が大切に感じるような場所に、市民とか行政とかが目を向けてそこをキチンと整えて行くのが、お迎えするとかおもてなしの心がだんだん広まってくると思います。花いっぱい運動も私素晴らしいことだと思いますが、駅前とか駅の周辺ではなくて、まずは、観光地に訪れた方が、ファーストタッチに訪れるところの一番最初に目に入るところが雑草でして、私はすごく目に入ってすごく残念で。この雑草が取れば、素敵な駅なるのになあと思いました。駅の構内なので安全規制だとかの制約があるかもしれませんが、そういうこと

こそ行政と民間と地域の住民が、自分たちの大切なものをもっともっときれいにしようよという活動につなげて、あの雑草をとにかく何とかして、観光客の方をお迎えできると思うと、素晴らしい妙高市になるんじゃないかなと思いました。特にそういう活動を地域の子どもたちが一緒に取り組むと、自分たちの地域をもっともっと愛してくれると思いますし、またそういう心というのは、訪れる観光客の方に通じると思います。また、妙高市がいいよ、あるいは妙高高原がいいよということになれば、次々とロコミでお客様がふえる、それが財政になって、再投資になるのかもしれませんが。逆にあの雑草が何もできないのであれば、妙高市でいろいろ施策をやってもなかなか変わらないんじゃないかな、あの雑草を何とかしなければならぬと、感じるところが大切だと思いますし、それがまた自分たちができるところから何とかすると、市民活動として大切ななと思います。私はなんかそんな呼びかけが、妙高高原駅の雑草取りというのが、新潟日報のチラシに入っていたらまず参加したいなと私は思います。そういうところをぜひ、行政の方か議員の方が、こう旗ふりをしてもらおうと、またそういう気持ちの市民も多いと思いますので、一緒になって活動してくれるんじゃないかなあとと思いますし、私もそういう活動をしていきたいと思いません。ぜひとも検討していただきたいと思います。

○司会（高田保則） 貴重な意見ありがとうございます。駅については当初民間の第三セクターになった時は、妙高市の今四つある駅を何かしようと、重点的な政策をあげて、今話しをしました、駅前活性化ビジョン基本構想。これらが非常に各駅の整備、バリアフリー化、インバウンドに対する対応とか、色々考えたんですが、なかなか現実は、第三セクターのトキメキ鉄道と地元と行政のいろんな関係から、なかなか実現しないということが現状であります。確かに構内雑草がひどいですが、錦鯉が泳いでるとこもあるんですね。そういういいとこも悪いとこもみんな混在していますが、現状では、かつての妙高高原駅という状況ではないということ、感じております。そういうことで委員の皆さんいかがでしょうか。関根委員。

○建設厚生委員（関根正明） ありがとうございます。非常にいい意見だと思います。去年ボランティアで数名ですけど、草刈りをボランティアでやった経緯がありますが、本当に今妙高高原の玄関としてふさわしくないような雑草が非常に多くなっていますので、我々からも働きかけて、いかに綺麗なおもてなしのできる駅にと、思いますので、皆さんの御協力の程よろしく願います。またボランティアでやっていただいた方はいなくなったので、色々相談しながら、駅では、ボランティアで草を刈ってもよいという返事をいただいておりますので、またそれはいろいろと相談させていただきたいと思います。

○司会（高田保則） その節は、ひとつご協力をお願いしたい。よろしくをお願いしたい。ほかにございますか。

○市内男性Ⅰ ○○の○○のと申します。私去年ですが、ある村へ、秋でしたから紅葉狩りに行ってきたんですけど、ものすごい渋滞で人がいっぱい押しかけていて、どうなっちゃってるんだろうと感心しました。実はそれよりも約20年ぐらい前にですか、同じような所に行ったことがあります、温泉旅館がみんなお客さんがいなくて、潰れているような状態で寂しいところだったなあと思っていたところが、見事に化けてしまって、お客さんが押すな押すなど、平日に押しかけるような状態ですが、あそこは新潟県内でも合併しない村だと思うんですが、そのせいなんではなかね。だからやることが長期的な戦略で行ってきているようです。駅のそばに、なんてことはない雑草だらけのひどいところが昔あったんです。そこにもみじを植えてですね。あれを育てるのに10年か20年かかるんですかね。今そこを紅葉谷という名前にして、脇の山を見るといっぱい桜が植えてありました。まだせいぜい高さ1メートルぐらいでしたが、将来春花見でもやるつもりなのかと見てたんですけど。どうも考えていることが長期戦略、それも10年単位の長いことをやっているような感じに見受けられます。昔狭い道でどうにもならぬような商店が合ったところが全部なくなって、そこに大きな駐車場があって 駐車場のすぐ近くに農産物の直売所。近くに海産物の販売とかいろんな店があって、そこところを約30分ぐらい歩くとお宮さんに行って、お参りしてくると

というような観光ルートになって、昔はなかったな—と思ったんですが、そういうものができていたんです。長期的に見て、駅もどうしようというふうに考えないですね、あの辺ちょこちょこっとみただけじゃだめなんだなあというふうに思うんです。池の平と赤倉、杉野沢これみんなまとめてですね、駅とどうやってむすびつけていくか、まあ1年2年でできるわけではない、10年単位で考えて、そのうちのことはこれだけやるといような考え方がいいんじゃないかなと思うんですが、行政ってのはそういった長いことを考えるのは難しいんでしょうか。ちなみに場所は弥彦村ってとこです。

○司会（高田保則） ありがとうございます。今長期的なビジョンが必要ではないかというお話ですが、皆さんいかがでしょうか

○産業経済委員（樗沢諭） 妙高市長も、4期務めました。一貫して観光と農業だと言い、観光と農業には力を入れていると思っております。しかしながら現代の人口減少や社会現象による変化によって、お客さんのニーズも変わってきているというなかで、比較的恵まれていた赤倉温泉地域、それに甘んじていたのではダメだということで、今お話があった知恵と工夫が大事だということ痛感し、お互いに行政も、我々の指摘しながら、ある旅館では一泊二日の料金をお客さん決めて下さい、という形でやってるところもある。貴重な御意見をお伺いしましたので、行政または議会に伝えていきたい。

○司会（高田保則） 一つの補足させていただきたい。ことしの3月に妙高歴史文化基本構想というものが作成され、ようやく妙高市の歴史文化について長期構想が出ました。そういうことで自然とかそういうものに〇〇さんが言ったように、遅れていますが、まず歴史文化をどうするかということで、歴史文化基本構想の実現に向け努力していきたい。私のもそれについて勉強していきたいという風に思います。ちょっと分野は違いますが長期的な構想ということでちょっとお話をさせていただきました。〇〇さんいかがですか。

○市内男性 J 今のあの歴史ということで、歴史と文化と言われましたが、池の平の宣伝をさせていただきたい。

○司会（高田保則） 簡単をお願いします。

○市内男性 J 5分ぐらいいただけますか。池の平には昔、石原新太郎が来ては、灰色の教室をかきあげた。その翌年に太陽の季節を書いて芥川賞をもらって、それが映画をになって石原裕次郎も有名になった。池の平は偉大なところでございます。石原慎太郎のこともぜひ取り上げていただきたい。私が池の平に来た特別荘というのが、杉山ライタと廣瀬さんといってモリタケの社長の別荘で、ここに昔にクノミヤさんが昔お泊まりになって、急遽お座敷トイレを完成させた。クノミヤさんという人は昭和天皇の岳父であり、皇后のお父さんであります。それからの私が関川の峯村のどこに来た時に、その隣の家がはハタイケと言って、堀内クマイチが亡くなったところ。ホリウチクマイチは堀内大学のお父さんにあたり、ブラジル移民を実現させていますし、日露戦争の時の巡洋艦2隻をイタリアからアルゼンチンに納入するところをロシアとうばいあって、それを日本のものにした。日露開戦の勝利に導いたそういう人なんです。もう一つは数年前にメキシコでクマイチのプレートができて検証されました。メキシコ革命のときに大統領が殺され一家をかくまったということが、今やっと評価された結果であります。クマイチの朝鮮時代の子分が与謝野寛鉄幹であります。大丈夫ですか。

○司会（高田保則） もう1、2分。

○市内男性 もう一つは岡本一平、太郎さんも赤倉に来て初めて赤倉でスキーをして、足をおられましてこの辺のところも宣伝してもらいたい。議会政治の父の尾崎行雄も池の平で80歳の時にスキーをやった人です。去年尾崎行雄のところに与謝野晶子が訪ねてきて、読んだ歌がいもり池に歌碑となって実現しました。尾崎行雄はアメリカに桜の花を送ったのですが、見返りにアメリカハナミズキというのが送られてきて、尾崎行雄記念財団の庭に咲いております。まだまだいっぱいあるんですけどとりあえずこのくらいで。

○司会（高田保則） ありがとうございます。今尾崎ガクドウさんの石碑は赤倉の香獄楼の建物の前にあります。小杉放菴その他に岡倉天心坐像もあります。非常に歴史的に多いんですけど、今までそれについては行政も我々もあんまり真剣になってなかったというのが、たまたまこういうことで、3月に歴史文化基本構想ができましたので、これからはそれらをメインの一つ妙高市というものを目指していけばなというふうに思います。ほかにございませんか。

○市内男性K ○○の○○でございます。こないだ電車に乗って妙高高原駅におりましたら、ちょうど、同年配の仲間と一緒にしまして、駅の階段を登ったり降りたりするの大変だなという話をしました。そこでその方から北新井駅は上下線の電車がひとつのホームの中で、登りをしないでいい。北新井駅のようになったらいいんじゃないかなという話が出ました。妙高高原駅につきましては、議員の皆さん方も活性化計画の中でいろんな意見を出し合ったんですが結果的には今までのJRの時とトキ鉄になっても変わりがないわけでございますが、そういう考え方もありますので、できれば特に高齢者の皆さんに負担をかけない利用ということをさらに研究をしていただき、いろんな会の中で、発言していただければと思っております。きょうのメインテーマであります駅周辺の賑わいづくりの関係でございますが、かつて駅前が非常に賑わっていたこと頃と今比較しますと90%以上の方が車で来る時代になりました。従って駅利用のお客様の乗降客の数字が出されましたがそんな数であります。先ほどこちらでは若い方体かた会話したようにやっぱり駅は一つの拠点になるわけです。車できたお客様も駅前にくるような魅力づくりを考えていかなければならない、ということでございますが、なかなか決め手がないと思うんですが。そこで提案なんですけどやはり地場もの、農業生産の直売所というのはどこの地域でも伸びしろのある。地域の事業になってきています。ちょうどあの妙高高原駅につきましては、しなの鉄道とトキ鉄のちょうど中継点になっています。道の駅しなのですかね、信濃町でやっている「しなの」に行きますと、微妙に、新潟県のとまとで売っている品物と微妙に違う。双方のよさっていうものがあるような気がする。そこで駅前の蕎麦屋さんだったり土産物だったり、ところが今更地になっています。ちょうど妙高高原町時代に駐車スペースが広がられていますので、お客様の駐車という部分の中では、たくさん来た場合には別途考えなければいけないが、通常の範囲ではよいのではないかと。とまとと長野県の道の駅しなの、両方いいものをそこで売るとまた新たな魅力のある直売所になるのではないかなと。長野県では果物が豊富に売っています。新潟県の方では売っていない。地蜂の子だとか色々なものがあるわけでございますが、その辺の工夫ができないかなということと、もう一つは妙高市の中であっばれ一品ということで、地元の特産品名物っていうものをやってるんですが、じゃあそれを何らかの形で一つの所で売ってるかと言うとなかなかない。従ってあっばれ一品の中からこれはというものを厳選して、そんな工夫してとまとにない魅力あるいは道の駅しなのにない魅力をつけることによって、車で来たお客さんも駅に寄るような形になるのではないかな、ということで一つの提案をさせていただきます。もう一つは妙高市になりまして、苗名滝に行く道が危険な道路から素晴らしい二車線の道ができました。日曜日になると1日3000人のお客さんが来ております。またゴールデンウィークに入るわけでございますが、池の平のいもり池には、それ以上のお客さんが来られます。ですけど、地元の物を売るという方がいないので、私の方も地元の方々に軽トラックに地元の産物を積んで駐車場の一角を、担当課に話して借りれば、特にお米なんかは来てるお客さんはすべて車でするので、それこそ10 kgのお米も買って積んで帰れる。そういう中でこのお客さんの多い土日を中心に、軽トラック市でとまとの方でも結構ですし、もう少しそういうところで、販売を考えてはどうかということで、地元の人にぜひ出て来ないか、ということで声をかけているがなかなかやっただけじゃないもんですから、合併したわけでございますので、何も妙高高原の人がそこで商売しなくてもいいわけです。ぜひ妙高市の中でそういう中で、公共の駐車場ではありますが、利用できるような形でご指導していただければいいかなと思っております。あともう一つの問題ですが、いよいよ耐震化の問題で、支所が

秋にメッセの方に移るようになりました。今の段階では壊すという形になるんだろうと思いますが、支所と違って民間の建物になれば、まあ耐震化という中で、ある程度ゆるく考えられるのではないかなと。壊すのはもったいない。活かさないかという中で、かつての第一電工田口工場の新工場が撤退するという中で、ビルに相当すると7階建てのビルだったんですが、キノコ工場がそれを買って、あるいは借りてってという話が、当時妙高高原町時代にあったんですが、隣の長野県に行きますと、工場生産のきのこ工場というのがそういうものが盛んに行われている中で、ちょうどこの支所の規模からすると、そういう転用っていうのができるのではないかなということと、またそこに働く人たちも高齢者の方が、十分働ける場所にもなる理由でございます。これは妙高高原支所だけじゃなくてしないの学校保育所等も建物が立て替えられていく中では、そういう利活用も考えて、そういう中では、中高年の形の雇用の場という確保も必要で、できればそういう戦略戦術的なものも考えたらどうかなと思っております。以上でございます。

○司会（高田保則） ありがとうございます。提案と言うことでお聞きしてよろしいでしょうか。鳥獣対策についてはいかがですか。○○さんどうぞ。

○市内男性L ○○に住んでいる○○と申します。最初の妙高市役所のところと、大鹿とことと、議員のみなさん大変苦労したと。いろいろなお話を聞きました。ちょっと外れてしまうかもしれないがよろしいでしょうか。この建物は20億以上かけて建てられたと。1年前ですかね、あそこの下の所は、事務所と泳ぐじゃなくて歩くですかね。あるくスペースになっていますが、あのスペースの部分は、この1年間どのくらいの人が利用されたのか分かったらお答えいただきたい。とそれがひとつと、もう一つは、私もスポーツとか体育とかに携わっていたんですが、やはり私スポーツの中でも一番大事なスポーツは水泳だと思います。水泳ってというのは泳ぐのはとにかく、それができないと自分の命を落とすわけです。他のスポーツ競技の中ではそんなのはない。特に泳ぐってのはやっぱり小学校2、3年までに覚えておかないと大変だと思います。そういう面で体育館ができ、せっかくのプールがないっていうことは、プールというのは必ず6、8コースという訳ではなく、プールというのは2コースぐらいで十分である。体育館をどうするかじゃなくて、この妙高高原地区の子どもたちが結構新井のプールへ行ってるんですよ。そして水泳教室に入って喜んで、こちらから向こうへ行ってくると往復で1時間近くかかります。そして子供達の面倒含めると2時間はらくらくかかる、泳ぐ場所を妙高高原に頑張って何とかしていただければと思っております。以上です。

○司会（高田保則） ありがとうございます。プールの件について。

○総務文教委員長（宮澤一照） 人数なんですけど、ことしの決算で大よそ把握できると思うんです。あそこは今指定管理者がやっておりますので、その件からも含めて生涯学習課の方に聞いて、数字を出していただくようにしたいのでよろしくをお願いします。またあそこは当初は避難所ということでつくられた建物です。避難所ということでつくってるんですけど、その中にあの温浴施設運動をということで、歩くということでジャグジーをつかってやっている現状だと思います。正直言って、あそこをどう生かすかというのは今後の課題だと思います。年間を通してどれくらいお金がかかって、あれは温泉ですし、ろ過して運用しているような形になっていますが、あれをいかに費用対効果を出していくというのが、非常に大事なところになっていて、あれを改修するとか、あそこをメインとして泳ぐ形にすることはあり得ないと思いますが、いかに利用価値を高めるかというのが今後の課題と思っています。

○司会（高田保則） それで御了解をいただきたいと思います。

○市内男性F それで新井のアリーナができた時に、私はタッチしてたんですけど、そしてまもなくこちらで体育館ができるということで、私も色々な所へ行って体育館を見てきたんですけど、西山町にコンパクトな体育館があるんです。その中にプールは2コースのプールがある。すぐそばにジャグジーがあって、こうすればいいんだと思

っていたんですが、こうなればいいと思ったんですが、こちらは全く確か西山町の方も見てこられたという話も聞いているが。

○司会（高田保則） 今の高原体育館のプールっていうのは、競泳のプールということじゃなくて総合健康都市妙高ということで、健康に利用するというので、プールを二つつくったが、目的がそういうことになってますので、競泳用のプール子供が泳ぐ施設ではないということが、大きな課題です。そういうことを宮沢委員長が今話しましたが、これから健康ということでどれくらい利用するか、ということが一つの課題でありますし、今小学生のプールにつきましては一応南小学校、北小学校も屋外プールがありますので、とりあえずはそこでやっているというところ。その辺も若干御理解いただきたいと思います。最後に鳥獣被害対策いかがでしょうか何かございませんでしょうか。

○市内男性 きょうのテーマと若干違いますが、高田さんの方からお話があったので鳥獣害対策ということで、今皆さん御存知の通り、特にイノシシが杉野沢地区昨年ぐらいからふえてきている。猿もいることはいるんですが、イノシシ対策ということで非常に田んぼが稲ができてから荒らされるので、非常に農家の皆さん私も田んぼをやってますが苦勞しているところです。地域として鳥獣害対策協議会を立ち上げ色々対策をしているんですが、なおかつ行政の方からも電柵等の補助も御紹介いただいております。ただ隣の長野県の信濃町の話を知ると、その辺の補助制度が、行政区が違うと思うんですが補助率が高いとそういう風なことも聞いているので、ぜひ妙高市の方もそういう補助率の方も見直しをしていただければ非常にありがたいと思っております。なかなか個人で申請しても難しいところがあるので、3年以上とかそういう規制もあるので、その辺のいろいろのいろんな場所で、農林課からも話を聞いているが、議会の方からもその辺一つバックアップをお願いしたいなと思っております。よろしくお願ひします。

○建設厚生委員（関根正明） ことしの予算で、鳥獣対策に係る市の補助金というのは、ことし新設されておりますので補助率の問題は、こちらの方からなるべく有利に働くように働きかけていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○司会（高田保則） はいどうもありがとうございました。予定の時間を若干過ぎましたけどこの辺で議会報告会、意見交換会を閉じさせていただきたいと思ひます。全員の皆さんから発言をいただきまして本当ありがとうございました。きょういただいた意見をお持ち帰りまして、議会で解決できることはしていく、また当局と共同でやらなきゃいけないところは、当局と交渉しながら実現をしていきたいと思ひます。またきょうの御意見等ホームページ等で公開する予定ですので、また後ほどごらんいただければというふうに思ひます。そういうことで大変きょうは長時間ありがとうございました。

閉会 午後 8時38分